

智頭町 智頭町 森林組合だより

令和2年6月 No.27

☎689-1402 智頭町森林組合
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 1918 番地
TEL(0858)75-0075(代) FAX(0858)75-1192
木材加工センター
TEL(0858)75-0104 FAX(0858)75-1446

もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS



JForest

1. 地区座談会の開催 (1)
2. 第 33 回通常総代会の開催 (2~3)
3. NEW FACE~新人職員紹介~ (3)
4. 就任組合長挨拶・退任組合長挨拶 (4)
5. 新役員紹介 (5)
6. 新総代の皆様 (6)
7. 令和元年度事業報告/決算状況 (7)
8. 令和2年度事業計画 (8)
9. 令和2年度組織分担表 (9)
10. 新たな森林管理システムの取り組み (10)
11. 間伐材搬出等事業について (11)
12. 木材加工センターの事業状況 (11)
13. 2020 年林業労働安全性向上対策事業 (12)
14. 購買品の紹介 (12)



認証材を使おう
環境に配慮した森づくり



智頭町森林組合 (0858) 75-0075
製材品は木材加工センター

令和元年度地区座談会



智頭座談会



富沢座談会



山郷座談会

令和2年2月4日~12日に6地区の会場で、座談会を行い組合員160名の方に参加者していただきました。

ご来賓の県、町の担当者の方より、行政の取り組みやこれからの森林経営管理制度の説明をしてもらいました。

森林組合の事業内容とこれからの取り組みについて担当職員が説明し、その後参加者の方からのご意見、ご要望をお受けしました。

頂いた意見としては、作業道の災害復旧の進捗状況、若い人は山への関心が薄い、加工センターの方向性、町内での木材利用の需要など質問が出ました。

また今年度も開催しますので、ぜひご参加ください。

第33回通常総代会の開催

令和2年5月27日(水)「智頭町総合センター 大集会室」を会場に開催しました。

この度は林野庁の通知のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、来賓の方と総代の皆様には出席を控えて頂きました。総代の皆様には、できるだけ書面議決の行使をお願いし、ご理解いただきありがとうございました。書面議決書を提出されていない方により本人出席6名、書面議決182名、合計188名の出席で開催いたしました。

開会の言葉の後、寺坂安雄組合長より、感謝の意を表して感謝状の贈呈がありました。古谷国興様には、平成5年5月より27年間、大坪浩治様には、平成20年5月より12年間、役員として組合の発展に多大な貢献をしていただきました。

その後、寺坂安雄組合長より、「3期9年勤めさせて頂きまして、思い返してみると、当初は、保育間伐を主に行って来た作業が年数を重ねる事に搬出間伐へと変わって行き、組合全体の動きが大きく変わった事。任期中に従業員又は関係者の方に大きなケガも無かった事。また、9年目には森林組合新事務所の建築をする事が出来たので、これも偏に、皆様のお力添えのおかげと、深く感謝しております。」との挨拶がありました。

議長に那岐地区の谷口陽一郎様が選任され、「第1号議案 令和元年度事業報告・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案の承認について」から「第9号議案 役員退任慰労金の支給について」まで提案し、いずれも原案どおり可決承認されました。



感謝状の贈呈



感謝状の贈呈



挨拶をする寺坂組合長



議長 谷口陽一郎様



総代会の状況

【通常総代会提出議案】

- 第1号議案 令和元年度事業報告書・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 令和2年度事業計画の設定について
- 第3号議案 令和2年度役員報酬額の決定について
- 第4号議案 令和2年度借入金の最高限度額の決定について
- 第5号議案 一組合員に対する貸付金及び利率の最高限度額の決定について
- 第6号議案 令和2年度余裕金預け先金融機関の決定について
- 第7号議案 諸手数料の額の決定について
- 第8号議案 役員を選任について
- 第9号議案 役員退任慰労金の支給について

NEW FACE ～新人職員紹介～



聲高 未紗

12月より一般職員として勤務しています。

事務は未経験で分からない事が多いですが、ひとつずつ学んでいきたいと思えます。

よろしくお願いします。



就任組合長挨拶

この度、智頭町森林組合代表理事組合長に就任いたしました大谷です。

前寺坂組合長の功績に恥じないよう重責ですが出来る限り役職員と共に頑張って事業に取り組みたいと思います。

現在、林業を取り巻く情勢としては、新型コロナウイルス感染の影響を受け、日本及び世界中の経済が悪化しています。

高齢化社会の中、智頭町の人口は減少傾向になって行き森林所有者は所有林の管理が出来なくなりますが、経営管理ができない森林については町が仲介役となり森林所有者との林業・森林の適切な管理を図るため、智頭町と協力し組合が守らなければならない大きな使命だと思っています。

コロナ不況により、今後も住宅着工件数の大幅な減少が懸念される中、県産材の需要拡大を図るため、町を通じて県との連携を取りながら事業を進めて行きたいと思っています。

今後の大きな問題は後継者の育成であり、町・サングリーン智頭・町内の森の学び舎(自伐林家)または智頭町内の事業者の皆様と連携を取りながら進めたいと思います。

最後に組合員皆様の意見が反映される様に役職員一同、最善を尽くしてまいりますので宜しくお願いします。



代表理事組合長 大谷 豪太郎

退任組合長挨拶

今回、令和2年5月27日開催の総代会をもって、組合長を退任することになりました。

平成23年5月末に澤米由己元組合長から、伝統ある智頭林業の要としての智頭町森林組合長に就任してから3期9年間お世話になりました。

振り返ってみますと、就任時は新しい会計処理に移行している時期であり、事業では国・県の補助事業による保育間伐が中心の事業構成でありました。その後、施業の集約化・団地化による森林経営計画団地を中心とする搬出間伐に取り組んでまいりました。

新植の激減により、やむなく惣地の直営苗畑の閉園、一昨年の豪雨による林道・作業道の激甚災害、木材加工センター製材品の販路拡大のため大阪コンソーシアムの取組など忘れることの出来ないことであります。

また、昨年は長年の懸案であった自前の森林組合事務所を多くの組合員皆様の御協力と御支援により建築することが出来ました。

3期9年間、大事故もなく組合運営が出来ましたのは、組合員の皆様、役職員の皆様のご理解と御支援の賜物と考えており、大変ありがとうございました。

歴史ある智頭町森組合、智頭林業の益々の発展を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。



前代表理事組合長 寺坂 安雄

新任役員紹介

令和2年5月27日(水)の第33回通常総代会において役員改選が行われ、理事16名、監事3名が選任されました。

総代会後、理事会を開催し、代表理事組合長に大谷豪太郎氏、代表監事に酒本敏興氏が就任されました。組合の運営等、ご協力よろしく申し上げます。

選任された役員は下記のとおりです。



理事
河村 健一
智頭(河三)



理事
草刈 満男
智頭(沖代)



理事
土居 裕始
智頭(下町)



理事
山本 浩視
智頭(市瀬)



理事
西尾 和彦
富沢(惣地)



理事
林 重範
富沢(口宇波)



理事
武田 彰弘
山形(芦津)



理事
春摘 要
山形(浅見)



理事
前橋 益夫
山形(大内)



理事
青木 正篤
山郷(尾見)



理事
聲高 等
山郷(白坪)



理事
池本 英夫
土師(慶所)



理事
山中 章太郎
土師(山根)



理事
小川 啓介
那岐(河津原)



理事
長石 健
那岐(早瀬)



代表監事
酒本 敏興
智頭(河三)



監事
徳永 英太郎
土師(木原)



監事
藤原 一彦
山郷(樽見)

新しい総代の皆様～お世話になります～

令和2年4月1日～令和5年3月31日までの3年間、総代として就任していただいております。ご協力よろしくお願ひします。

山 郷 地 区				定員 25名			
住 所	氏 名		住 所	氏 名			
尾 見	寺坂	泰明	中 原	加藤	修		
	寺坂	優		岡田	廣重		
	青木	静夫	福 原	大藤	邦彦		
	河村	百喜平		大藤	克紀		
白 坪	聲高	幹男	樽 見	藤原	和寛		
	尾崎	一心		萩原	増美		
	聲高	節男		藤原	弘樹		
新 田	岡田	功		玉木	秀樹		
	岡田	一	藤原	守			
	岡田	光弘	中村	公生			
中 原	中澤	幸久	駒 帰	小林	敏克		
	葉狩	裕		中島	博恭		
	中沢	雅人					

智 頭 地 区				定員 42名			
住 所	氏 名		住 所	氏 名			
冲 代	平尾	晴次	河 二	下山	雄士		
奈 留	竹延	勝之		綾木	昇治		
	突出	壽美雄		谷口	美久		
	西尾	光正	河 三	河村	清美		
西尾	弘伸	中西		章一郎			
米 井	米井	清美	河 四	藤原	敏督		
	米井	亮祐		寺坂	義人		
岡 田	岡田	邦雄	本 折	國本	秀靖		
上市場	西川	正美	市 瀬	芦谷	正行		
	前川	都		葉狩	勝正		
上 町	船岡	絹恵	中 島	植木	賢治		
	笹尾	朋史		植木	淳二		
	青木	淳	湯 屋	藤原	一實		
米井	哲郎	平尾		強			
中 町	中田	優	鳥 巢	田中	智		
下 町	中村	正直		平尾	稔		
	河 一	米原	敏行	板井原	福原	芳幸	
原田		浩亨	藤原		修身		
聲高		弘之	藤原		博市		
河 二	前田	節治	久志谷	西川	三徳		
	藤縄	薫		緑ヶ丘	安住	吉実	

山 形 地 区				定員 33名			
住 所	氏 名		住 所	氏 名			
篠 坂	荒子	英明	浅 見	浅見	公昭		
	前田	博昭		山口	健治		
毛 谷	小宮山 一男		池 本	田中	潔		
上大内	大森	賢一		中 島	中西	公幸	
	酒本	滋行	大 呂	大呂	佳己		
	小坂	宣利夫		大呂	武久		
下大内	大森	剛	芦 津	寺谷	紀明		
	山根	政伸		武田	頼美		
郷 原	芦谷	茂樹		武田	利典		
	森本	忠徳		綾木	章太郎		
	芦谷	吉弘	小宮山	晃次			
米 原	大坪	英毅	寺谷	正			
	大坪	義道		寺谷	太志		
西 野	大坪	弘幸	八河谷	白岩	峯子		
	大坪	則秋		白岩	栄夫		
				遠藤	優		

富 沢 地 区				定員 26名			
住 所	氏 名		住 所	氏 名			
岩 神	林	孝明	新 見	河村	慎一		
	谷口	道紀		河村	道康		
坂 原	国岡	義則	口波多	西村	孝司		
	国岡	喜与次		大原	秀之		
	国岡	善章	波 多	白岩	寿一		
中 田	西尾	修		米本	勝彦		
	西尾	寿樹	口宇波	小林	幹也		
	木下	友之		藤森	隆		
惣 地	谷口	美男	宇 波	寺坂	光夫		
	西尾	寿行		寺坂	清美		
	西尾	健次		藤森	弘憲		
新 見	寺坂	実司	中嶋	義男			
	河村	一則					
	河村	敏朗					

土 師 地 区				定員 34名			
住 所	氏 名		住 所	氏 名			
三 田 (井上)	白間	ちとせ	石 田	草刈	英人		
	玉木	芳弘		三 明	小林	太	
(中村)	谷口	隆之	天 木	和田	博雄		
	谷村	泰照		小林	悟		
(下中村)	山中	秀之	長 瀬	小林	薫文		
	坂本	晴信		小林	久男		
山 根	谷口	至令	大 坪	稲塚	義典		
	田中	功		佐々木	昭博		
	谷口	真一		福田	裕		
穂 見	山村	正明	山 田	大谷	剛司		
	佐々木	賢次		大森	正二		
木 原	佐々木	永光	山 本	山本	修		
	佐々木	啓太		福原	寛之		
横 田	谷口	善彦	十日市	古田	隆章		
	今倉	清之		谷口	憲一		
石 田	石田	紀光	慶 所	田中	憲治		
	河村	博恭		駅前			

那 岐 地 区				定員 40名			
住 所	氏 名		住 所	氏 名			
大 屋	矢部	元寛	早 野	安住	富三雄		
	福安	洋治		安住	勉		
	福安	健	駅 前	大谷	悟司		
	岸本	廣美		黒岩	清人		
早 瀬	熊谷	善一郎	大青 (宮ノ本)	黒岩	一朗		
	長石	憲太郎	大青 (五月田)	赤堀	和徳		
	古田	浩	大青 (口早野)	三輪	圭一郎		
真鹿野	古田	雅彦	東宇塚	寺坂	真輔		
	谷口	陽一郎		赤堀	俊朗		
	古田	元男		萩原	利昭		
野 原	谷口	裕一郎	下 西	赤堀	完治		
	檀原	安之		国政	節士		
	古谷	伊知郎		前橋	欣俣		
栴 本	古谷	祥一郎	奥 西	石橋	實		
	古谷	嘉章		国政	建次		
早 野	竹下	逸雄	河津原	國政	愛治		
	古谷	隆太郎		安道	睿仁		
	黒岩	悦雄	河村	実則			
安住	吉雄	小川	國石	貴信			
安住	喜代子		小川	寿朗			

令和元年度事業報告並びに決算状況

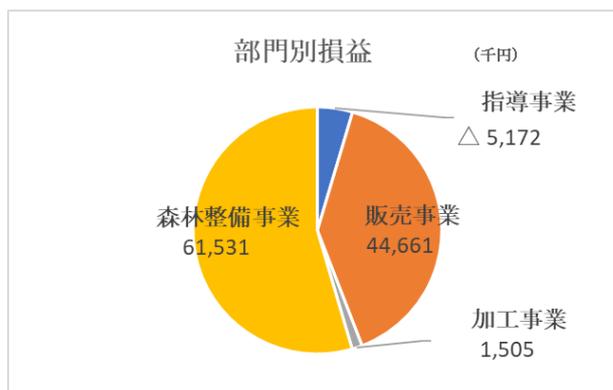
智頭杉の良さを醸し出した木造新事務所での業務、心新たに取り組んだ一年でありました。しかし、依然として林業・木材産業を取り巻く状況は厳しく、組合運営も県、町の御指導、御支援のもと、森林経営計画団地を中心とした搬出間伐（21,168㎡）、作業道の開設（58路線32,851m）等路網の整備、智頭町発注の地籍調査事業の受託、加工事業では木材の利用生産の取り扱いが減少となりましたが、県内外の工務店等への販売に努力した結果、1,111㎡の販売量でした。また各補助事業の活用により展開することができました。

事業成果として、事業取扱高642,944千円（前年604,463千円）、経常利益19,961千円（前年11,792千円）を上げることが出来ました。これも組合員の皆様のご理解とご協力と関係機関の御支援の賜と厚く感謝申し上げます。剰余金の処分として任意積立金を取崩し、加えて新たに将来に備えて目的積立金を計上しました。

今後さらに財務内容の充実を図り、より安全円滑な事業運営により組合員の皆様の負託に応えうるように努力を傾注してまいります。

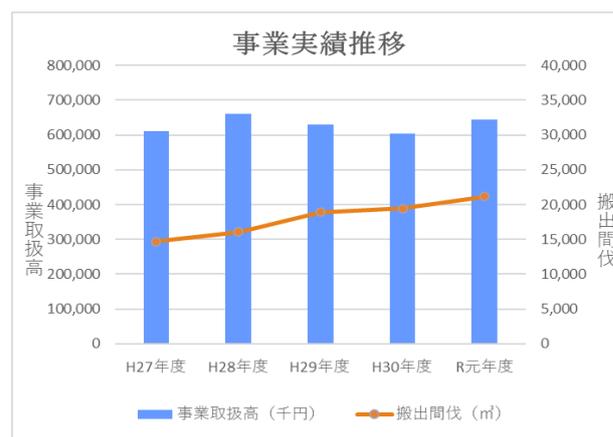
損益計算書

科目	算出方法	金額（千円）
事業総利益	A	102,525
事業管理費	B	83,731
事業利益	C A-B	18,794
事業外収益	D	1,167
経常利益	E C+D	19,961
特別損失	F	21
税引前当期剰余金	G E-F	19,940
法人税・事業税	H	4,188
前期繰越剰余金	I	1,608
当期末処分剰余金	G-H+I	17,360



剰余金処分

区分	金額（千円）
当期末処分剰余金	17,360
任意積立取崩額	44,000
内訳	
法定準備金	3,200
任意積立金	56,500
次期繰越剰余金	1,660



任意積立金内訳

(単位：千円)

区分	積立目的・基準	積立目標額	前年度末積立額	今年度積立額	積立金合計
損失補填積立金	欠損金に備える	20,000	13,000	3,000	16,000
加工施設積立金	製材機械の更新、処分、撤去等に備える	20,000	0	13,500	13,500
高性能林業機械積立金	高性能林業機械の更新等に備える	70,000	0	40,000	40,000
合計		110,000	13,000	56,500	69,500

令和2年度事業計画

今年2月から世界中で蔓延している新型コロナウイルスの影響により、林業・木材業界におきましても、国内の木材取扱高の大幅な減少による景気衰退への懸念、また輸出向けの原木の流通の停滞による過剰在庫など、とりまく環境は厳しいものとなっています。そのような状況ではございますが、今年度は新たな体制で事業の柱として4つの部門を設け取り組んでまいります。

指導部門では、森林所有者ならびに関係機関と連携を取りながら、森林組合事業が円滑に進んでいくよう努めてまいります。また、智頭林業の発展のために、若手後継者育成に努めてまいります。

販売部門では、間伐事業を主とした原木生産に努め、施業面積450ha、取扱材積27,000m³を目指します。出荷した材は仕分けを行い、適材適所に供給できるよう努めます。特にA材は、森林認証を取得している認証材としての特質を活かした販売に留意をしながら生産を行っていきます。B材は合板材として、枝条、根株等のC材は、再生可能エネルギー原料として、木質バイオマス発電への供給体制に努めてまいります。

加工部門では、原木、製品の適正在庫と、JAS認定工場として品質向上に努め、森林認証COCを活用し、付加価値を高めた販売に努めてまいります。

森林整備部門では、未完成の西日本豪雨災害による林道、作業道の早期復旧、復興に努めてまいります。また、森林経営計画に基づき、路網整備を一体とした森林整備事業に取り組んでまいります。智頭町が発注する地籍調査においては、早期の森林境界確定に努めるとともに、今後の森林施業計画に活用できるよう積極的に取り組んでまいります。

それぞれの部門において無事故、無災害を目指し、組合員様と一体となって、皆様のご期待にお応えできるよう努力してまいりますので、引き続きご指導ご協力の程、どうぞ宜しくお願いいたします。

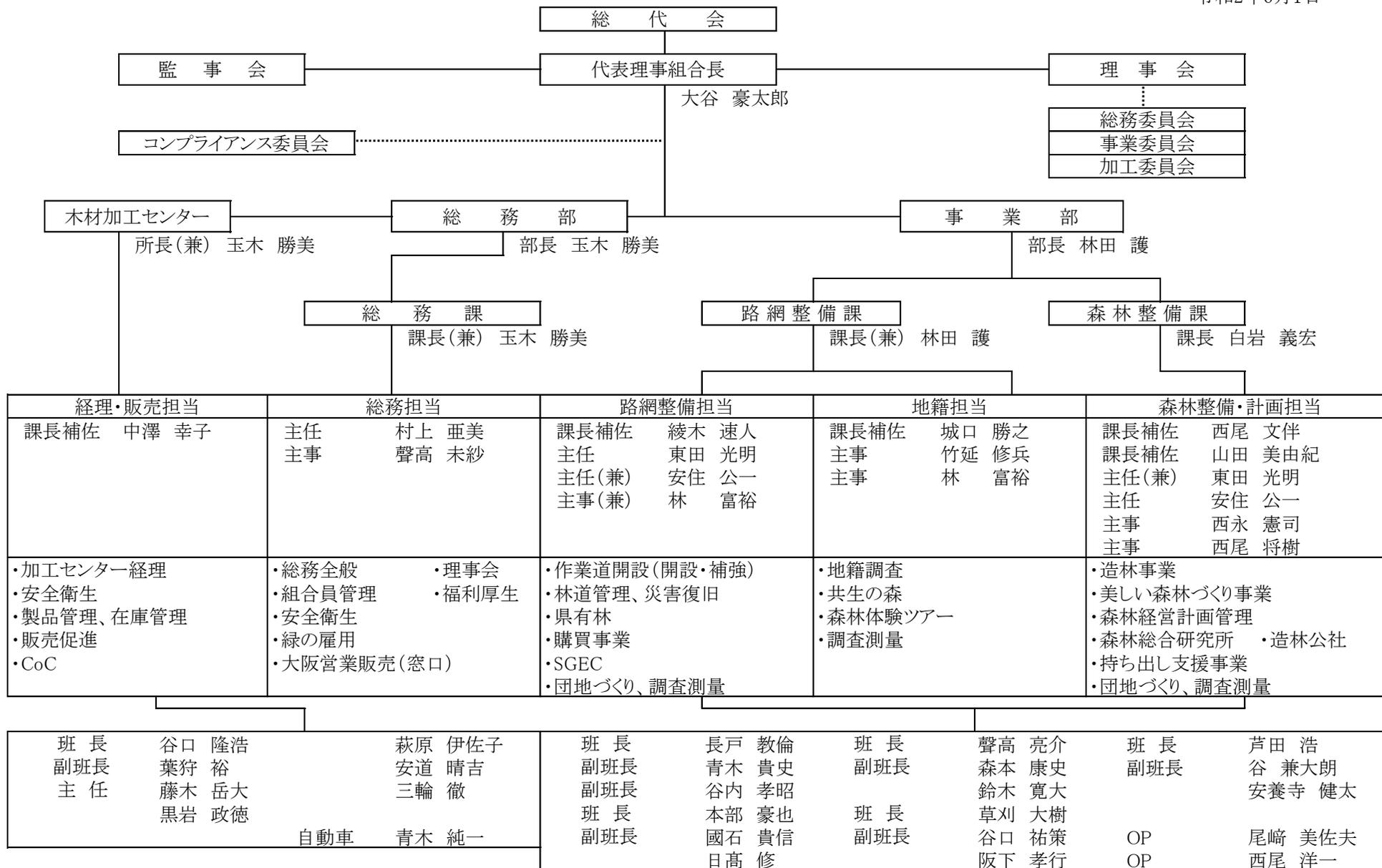


就業1.2.3年生が指導員のもと研修中



令和2年度組織分担表

令和2年6月1日



新たな森林管理システム（森林経営管理制度）の取組状況について

昨年の4月に森林経営管理法が施行され、森林の木材生産、水源かん養、土砂流出防止等公益的機能の維持増進を図るため、森林所有者は森林を所有するだけでなく、適時に施業を行い適切に経営管理をしなければならなくなりました。

しかし、不在村だったり所有者自身で経営管理することが困難な場合もあるため、町は森林所有者の意向調査を実施し、森林所有者から経営管理を受託する経営管理権※の設定に取り組んでいます。

意向調査は町内全域の「民間事業者等に経営管理を委託していない」、「地籍調査等により境界が明確」、「施業履歴がない」森林を対象としており、年間100ヘクタール程度、15年かけて実施する予定です。昨年度は那岐地区80ヘクタールで意向調査を実施し、18ヘクタール、26名の方から町に委託したいとの意向が示されました。今後、町が森林所有者から経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林は意欲と能力のある森林経営者が搬出間伐等の施業、経営管理を行い、林業経営に適していない森林は町が強度間伐を行い適切な森林管理に努めます。

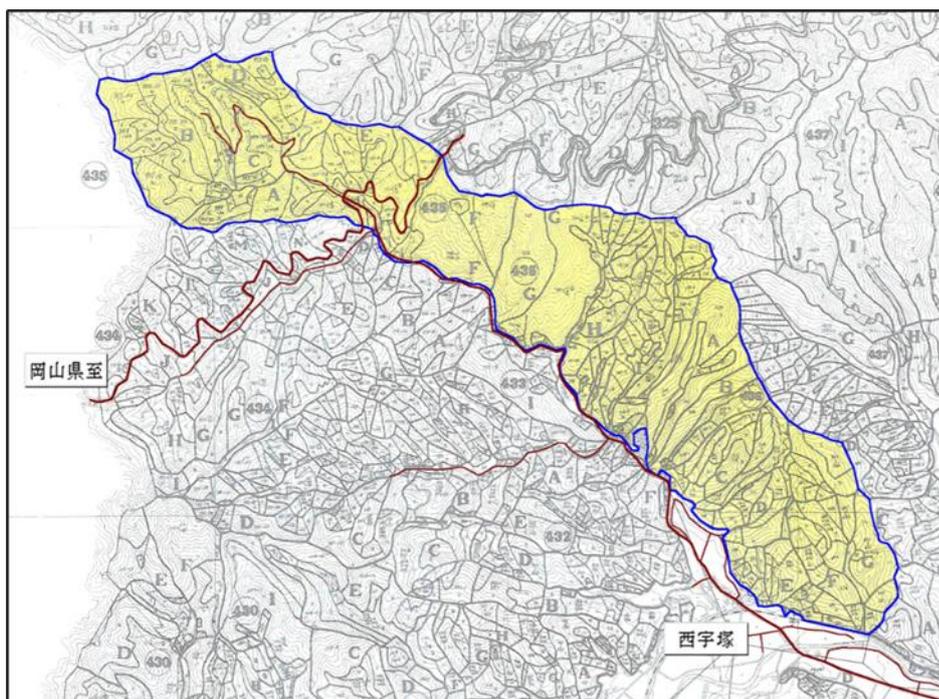
今年度も引き続き那岐地区での意向調査の実施を予定していますので、新たな森林管理システムについての御不明な点、御質問等は役場山村再生課までお問い合わせください。

なお、所有者自らが経営管理している森林、森林組合等に経営委託されている森林はこの制度の対象になりませんので、引き続き適切な経営管理に努めていただくようお願いします。

※経営管理権とは

森林所有者の方々が自ら管理することが難しい山林について、森林所有者の方が町に経営や管理を委託できる法律

令和2年度意向調査予定地



令和2年度 鳥取県間伐材搬出等事業及び智頭材出荷促進事業について

鳥取県間伐材搬出等事業

補助金額 2,600円/m³ (その内6%組合手数料)

- (1) 対象樹種 スギ・ヒノキ
- (2) 対象林齢 制限なし
- (3) 出荷販売先 県内に所在する次の施設。

①原木市場

(ただし、価額条件等を勘案し、やむを得ず県外へ出荷するものも事業の対象とする。)

②木材の保管場所 (港湾施設及び製材加工施設に附帯している野積場とする。)

③製材加工施設 (チップ工場のほかペレット製造施設を含む。)

- (4) 実施期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

智頭材出荷促進事業

補助金額 1,200円/m³

- (1) 対象樹種 スギ、ヒノキ
- (2) 対象林齢 制限なし
- (3) 出荷販売先 石谷林業株式会社智頭支店(石谷林業原木市場)
- (4) 実施期間 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

※間伐等立木を伐採される場合は、事前(保安林の伐採の場合20日前まで)に伐採届出書の手続きを行ってください。

加工センターの事業状況

智頭駅前に、智頭図書館建設中です。

加工センターでは、トラス構造材に注文を受け智頭杉80年生以上の製品で工事は進行中です。今秋完成予定です。



智頭図書館



富沢コミュニティーセンター

旧富沢小学校跡地に富沢コミュニティーセンター建設中です。

智頭杉を、ふんだんに使った建物です。今秋完成予定です。

2020年林業労働安全性向上対策事業について

農林中央金庫が労働安全性向上対策に取り組む森林組合等を対象に、購入費用の一部助成を行っていただけます。チェンソーを用いて作業される方など、安全装備品を購入されようと検討中の方は森林組合までご相談ください。

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町森林組合の組合員 ・智頭町森林組合の請負業者 	
対象商品	一定の防護機能を有する安全装備品 例 ・チェンソー防護ズボン ・安全靴・安全地下足袋 ・林業用ヘルメット など (対象商品のカタログがあります)	
助成率	30% (別途送料などは自己負担)	
募集期間	令和2年9月1日～令和2年9月30日 (申請準備のため9月28日頃まで締切厳守)	
注意事項	購入してからの申請はできませんので、 購入する前 に森林組合までご相談ください。	

購買品のご紹介



パワー森林香 赤 (30巻) 1,330円 (税込)

携帯防虫器 950円 (税込)

林業作業の必需品

森林作業や野外での作業に快適です!

チップソー 横綱強君 1,940円 (税込)

農作業にも快適!

刃の種類豊富に揃えています



* 杉小判使用できます!

【編集後記】

梅雨も半ばを迎え、組合員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

この度組合長が代わり、従業員一同縦の軸、横の軸の連携を大切に取り組んでまいりますので、引き続き組合員の皆様のご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

聲高